

令和3年7月27日  
消 防 庁

## 令和3年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

令和3年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

**安全功労者表彰受賞者 個人34名、団体10団体**

**消防功労者表彰受賞者 消防団員3名、女性防火クラブ員5名**

(受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。)

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

- 令和3年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式については、今般の新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を受け、中止とします。



連絡先  
消防庁総務課  
泉水政策評価広報官・中原係長・監物事務官  
TEL 03(5253)7521 内線 42173  
FAX 03(5253)7531

令和3年度

安全功勞者総務大臣表彰  
消防功勞者総務大臣表彰

令和3年7月

消 防 庁

## 1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 北村 光一郎（北海道・札幌防火管理者協会 副会長） ----- 1
- 後藤 規好（北海道・札幌防火管理者協会 会長）
- 山田 幸雄（北海道・札幌石油燃焼器具整備業協議会 会長） ----- 2
- 板橋 良枝（栃木県・足利市女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- 神杉 章（埼玉県・和光市防火安全協会 会長） ----- 3
- 小川 紘一郎（東京都・日本橋防火管理者連絡協議会 会長）
- 森 庸男（東京都・大森火災予防研究会 会長） ----- 4
- 吉野 明義（東京都・三鷹防火防災協会 会長）
- 藤沢 一三（長野県・一般社団法人長野県消防設備協会 会長） ----- 5
- 田中 八宏（岐阜県・各務原市危険物安全協会 会長）
- 藤原 康美（岐阜県・大野町女性防火クラブ 隊長） ----- 6
- 杉山 すゑ（静岡県・静岡県女性防火クラブ連絡協議会 副会長）
- 岩田 久次（三重県・亀山市防火協会 会長） ----- 7
- 西尾 新（三重県・志勢防火協会連合会 会長）
- 三浦 道夫（三重県・鈴鹿市防火協会 前会長） ----- 8
- 岩井 美恵（滋賀県・滋賀県女性防火クラブ連絡協議会 副会長）
- 鈴木 且久（京都府・左京防火協会 副会長） ----- 9
- 市川 盛壽（大阪府・吹田市公衆集合場防火協会 会長）
- 上田 博（大阪府・守口門真防火協会 理事） ----- 10
- 片山 和俊（大阪府・枚方市防火協会 会長）
- 加登 友久（大阪府・豊中防火安全協会 副会長） ----- 11
- 小池 宗一（大阪府・美原防災協会 会長）
- 田賀 弥生（大阪府・摂津市女性防火クラブ連絡会 会長） ----- 12
- 中大路 均（大阪府・旭区危険物防火協議会 会長）
- 西浦 由一（大阪府・泉南市防火防災協会 会長） ----- 13
- 松岡 義則（大阪府・松原市火災予防協会 副会長）

- 川 邊 元 (兵庫県・三田市防火安全協会 会長) ----- 14
- 篠 原 憲 二 (広島県・福山市南防火協会 会長)
- 中 邑 隆 哉 (山口県・岩国中央幼稚園幼年消防クラブ 副会長) ----- 15
- 三 戸 雅 明 (山口県・厚南地区少年消防クラブ運営指導協議会 会長)
- 宮 前 港 (愛媛県・愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 会長) ----- 16
- 井 上 裕 紀 (福岡県・粕屋南部地域防災協会 監事)
- 古 賀 芳 幸 (福岡県・みやま市防災協会 監事) ----- 17
- 馬 場 末 広 (福岡県・三潞地区防災協会 会長)

## 2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- 認定間々田子ども園幼年消防クラブ (栃木県) ----- 18
- 公益社団法人さいたま市防火安全協会 (埼玉県)
- 中津川市連合女性防火クラブ (岐阜県) ----- 19
- 犬山市危険物安全協会 (愛知県)
- 岩谷瓦斯株式会社近畿事業部尼崎工場 (兵庫県) ----- 20
- 西山台婦人防火クラブ (長崎県)
- 医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院 (熊本県) ----- 21
- 国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 (熊本県)
- 特定医療法人成仁会くまもと成仁病院 (熊本県) ----- 22
- 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター (熊本県)

## 3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- 藤 田 茂 (北海道・釧路北部消防事務組合弟子屈町消防団 団長) -- 23
- 澤 飯 英 樹 (石川県・金沢市第二消防団 団長)
- 岩 木 政 己 (三重県・名張市消防団 団長) ----- 24

#### 4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性防火クラブ員）

- 浅 倉 日登美（富山県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 25
- 塩 見 鈴 榮（京都府女性（婦人）防火クラブ連絡協議会 会長）
- 松 永 君 子（山口県婦人防火クラブ連合会 会長） ----- 26
- 藤 井 邦 子（香川県婦人・女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- 是 澤 京 子（宮崎県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 27

## 安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

### 個人の部

○<sup>きた</sup>北<sup>むら</sup>村<sup>こういちろう</sup>光一郎

札幌防火管理者協会 副会長  
現住所 北海道札幌市

平成16年に札幌清田区防火管理者協議会の会長に就任し、幼年消防クラブ結成等の幼年期における防火教育に取り組まれるとともに、その卓越した指導力により会の育成発展に尽力した。平成28年からは札幌市内各区防火管理者協議会の統合再編により発足した、札幌防火管理者協会において、副会長に就任し、自ら率先して運営に取り組まれ、会員から、絶大なる信頼を得ている。

また、地域住民の信頼も厚く、多方面から安全・安心なまちづくりに多大な貢献をしている。

○<sup>ご</sup>後<sup>とう</sup>藤<sup>のり</sup>規<sup>よし</sup>好

札幌防火管理者協会 会長  
現住所 北海道札幌市

平成16年に札幌東区防火管理者協議会の会長に就任して以来、札幌東区危険物安全協議会との合同研修会を実施するなど、その卓越した指導力と旺盛な行動力により会の育成発展に尽力した。平成28年からは札幌市内各区防火管理者協議会の統合再編により発足した、札幌防火管理者協会の副会長に就任し、さらに、令和2年に会長に就任された。様々な局面において手腕を発揮し、創意工夫を基に、柔軟かつ適切な協会運営に取り組まれている。

また、地域住民から厚い信頼を得ており、防火・防災に関する各種の普及啓発活動に尽力されている。

やま だ ゆき お  
○山 田 幸 雄

札幌石油燃焼器具整備業協議会 会長  
現住所 北海道札幌市

平成18年に氏の勤勉実直な人柄と熱心な取組が会員に認められ、札幌石油燃焼器具整備業協議会の会長として就任した。氏は会の発展と防火防災にかける思いは強く、自らの仕事を通じた地域の方々への防火防災に対する啓蒙活動はもちろん、その豊富な経験と優れた知識を活かし、数々の事業活動を提唱して実施し、会員の防火意識、点検整備技術の向上を図り、石油燃焼機器からの火災発生防止に努めている。

また、春・秋の火災予防運動等の各種行事への積極的な参加、火災原因調査の技術支援、少年消防クラブの育成支援など、組織をあげて消防行政に積極的に協力し、さらなる防火思想の普及向上に多大な貢献をしている。

いた ばし よし え  
○板 橋 良 枝

足利市女性防火クラブ連絡協議会 会長  
現住所 栃木県足利市

平成17年足利市女性防火クラブ連絡協議会幹事に就任し、副会長を経て、平成29年に会長就任以来、豊富な経験と識見及び卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

さらに、平成29年には栃木県婦人防火クラブ連合会の監事に就任し、栃木県婦人防火クラブ連合会四役を務めるなど、消防関係団体の要職に就き、足利市はもとより栃木県の消防・防災の指導者として活動し、「家庭防火」と「防火思想の高揚」を図り、終始一貫消防の重要性を深く認識し、「安全・安心な街づくり」を推進するなど、創意工夫と改善に目を向けて会の発展、充実に多大な貢献をしている。

かみ すぎ あきら  
○神 杉 章

和光市防火安全協会 会長  
現住所 埼玉県和光市

平成21年7月、和光市防火安全協会会長に就任し、現在に至るまで、会員相互の融和親睦と危険物施設における事故防止、さらに消防設備等の取扱い及び管理の向上を目的とし、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力している。

また、市内の行事には積極的に参加し、消防機関及び防火・防災関係団体と連携を図り、火災予防PR活動として啓発用品を配布し、多くの方々に防火・防災意識の高揚を図り、火災予防普及啓発に多大な貢献をしている。

お がわ こういちろう  
○小 川 紘一郎

日本橋防火管理者連絡協議会 会長  
現住所 千葉県市川市

平成6年4月、日本橋防火管理者連絡協議会に理事として入会以来、会計、副会長、会長代行を歴任、平成20年4月には会長に就任し、この間、多年にわたり防火・防災思想の普及に努め、豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動により会の育成発展に尽力している。

特に、日本橋消防署と連携して開催する自衛消防技術審査会や集合自衛消防訓練等の各種行事において率先して地域事業所に参加を呼びかけるなど、各種事業の推進や防火防災技術の普及向上を積極的に図っており、会員はもとより地域住民や消防機関からの信頼も厚い。

また、公益財団法人東京防災救急協会理事の要職に就き、地域全体の安全・安心に多大な貢献をしている。



もり つね お  
○森 庸 男

大森火災予防研究会 会長

現住所 東京都大田区

平成12年5月、大森火災予防研究会副会長に、また、平成15年7月には会長に就任し、各会員をとりまとめ、地域における防火・防災活動及び防火・防災思想の普及啓発の推進、災害の予防に大きく貢献している。

また、毎年春と秋に行われる火災予防運動、9月の防災週間及び救急医療週間では、各種行事に協賛するとともに、将来の地域における防災リーダーを育成する消防少年団の活動を支援するなど、地域の安全・安心の発展・推進に多大な貢献をしている。

よし の あき よし  
○吉 野 明 義

三鷹防火防災協会 会長

現住所 東京都三鷹市

平成19年5月に、三鷹防火防災協会会長に就任し、常に同会の発展と円滑な運営に努めるとともに、三鷹市民の安心安全の観点から、地域の防火防災思想の普及及び防災行動力の高揚に積極的に取り組んでいる。

毎年実施している春・秋の火災予防運動はもとより、危険物安全週間、防災週間、救急医療週間及び防災とボランティア週間等における諸行事に際し、三鷹消防署及び他の消防協働団体と密接な連携を図り、積極的に参画し、三鷹市をはじめ、防災に関連する機関とも協力し、ポスターやパンフレット、防災広報誌等を作成・配布し地域及び事業所に対し、広く防火防災活動への参加を呼びかけるなど、地域の安心安全、防火思想の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>ふじ</sup>藤<sup>さわ</sup>沢<sup>かず</sup>一<sup>み</sup>三

一般社団法人長野県消防設備協会 会長  
現住所 長野県須坂市

昭和46年3月以来、建築物における消防機器等の設置工事・保守点検を行う消防設備工事の事業に精励する傍ら、平成16年5月から一般社団法人長野県消防設備協会の理事を務め、平成22年5月に会長に就任してからは豊富な識見と卓越した指導力により、組織強化と健全運営に取り組み、会員事業所の技術力の向上に尽力するとともに、同設備協会の発展に尽くした。

また、消防行政への深い理解のもと、防火・防災意識の高揚にも献身的に取り組み、率先垂範の姿勢は会員のみならず地域住民からも厚い信頼が寄せられている。

各種消防関係団体の要職も兼任し、各会の育成発展への取組を通じて、地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

○<sup>た</sup>田<sup>なか</sup>中<sup>や</sup>八<sup>ひろ</sup>宏

各務原市危険物安全協会 会長  
現住所 岐阜県各務原市

平成17年5月、各務原市危険物安全協会理事に就任し、常に献身的で責任感が強く何事にも誠意をもって尽くすことから、平成20年5月には監事に就任した。平成22年5月からは、会長及び岐阜県危険物安全協会理事の要職に就き、危険物関係施設の安全管理及び危険物取扱者の資質向上を目的とした講習会や、地元企業との合同防災訓練を積極的に実施するなど、危険物に起因する災害防止・火災予防活動及び公共の福祉の増進に尽力し、各務原市はもとより岐阜県の協会発展と地域の安全・安心に多大な貢献をしている。

○<sup>ふじ</sup>藤 <sup>はら</sup>原 <sup>やす</sup>康 <sup>み</sup>美

大野町女性防火クラブ 隊長

現住所 岐阜県揖斐郡

平成19年から大野町女性防火クラブの分隊長として、地域での防火活動や県域を越えた先進地視察研修等に積極的に参加して、識見を深めていく姿勢は他の模範である。平成21年には副隊長として、平成23年には隊長として現在までクラブの発展に寄与している。

平成24年からは揖斐郡女性防火連絡協議会の会長、併せて岐阜県女性防火クラブ運営協議会の理事に就任し、多種にも渡る幅広い経験や繋がりを活かして、小学校で毎年、空き缶コンロ炊飯の体験授業を行う等、若年層からの防災意識の高揚など地域防災力向上の牽引者として多大な貢献をしている。

○<sup>すぎ</sup>杉 <sup>やま</sup>山 すゑ

静岡県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 静岡県静岡市

平成6年の静岡市女性防火クラブ（旧 清水市辻地区女性婦人防火クラブ）の設立に携わり、平成26年からは同クラブ会長として、長年にわたり地域の火災予防の徹底と、防火思想の向上に努めている。

また、同年から静岡県女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、豊富な経験を活かし各種行事の開催に積極的に取り組み、防火思想の普及・啓発に尽力しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安全・安心の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>いわ</sup>岩 <sup>た</sup>田 <sup>ひさ</sup>久 <sup>つぐ</sup>次

亀山市防火協会 会長

現住所 三重県亀山市

平成8年、亀山市防火協会の前身である亀山関防火協会に入会から理事として活躍、副会長を歴任後、平成27年に会長に就任以来、豊富な見識と卓越した指導力で防火協会の発展に尽力している。責任感が強く、各種行事には献身的に参加し、危険物安全週間や春季・秋季火災予防週間などの事業開催時には、自ら率先して地域住民の防火・防災意識の高揚に努めるなど、火災予防思想の普及啓発を積極的に推進している。

平成27年からは一般社団法人三重県危険物安全協会の要職に就き、危険物施設所有事業所における安全管理についても積極的に活動するなど、防火協会関係者はもとより、各関係機関、市民からの信頼も厚く、防火思想の普及啓発を通じて亀山市の安全・安心に多大な貢献をしている。

○<sup>にし</sup>西 <sup>お</sup>尾 <sup>しん</sup>新

志勢防火協会連合会 会長

現住所 三重県志摩市

平成21年8月、志勢防火協会連合会副会長に、令和元年5月から会長に就任し、現在に至るまで、豊富な知識や経験と秀でた指導力により会の育成発展に尽力している。

また、消防機関とも連携し、火災予防広報活動にも率先して参加するなど、会員相互に留まらず、消防機関と信頼関係を構築し、危険物の安全な取扱いや消防用設備等の維持管理の向上にも取り組んでいる。

会長就任後には新たな事業を積極的に展開し、小中学生が対象の防火ポスターコンクール受賞作品をポスターマグネットに印刷し、消防車両に貼り付けて広報するなど、火災予防活動及び公共の福祉の増進に尽力し、安全・安心の街づくりに多大な貢献をしている。

○<sup>み</sup>三 <sup>うら</sup>浦 <sup>みち</sup>道 <sup>お</sup>夫

鈴鹿市防火協会 前会長  
現住所 三重県鈴鹿市

平成24年6月に鈴鹿市防火協会長に就任して以来、豊富な見識と卓越した指導力により協会の育成発展に尽くした。

また、昭和56年2月からの11年余りの長きにわたり、鈴鹿市消防団の分団長も務めるなど、各種消防関係団体の要職に就き、防火推進認定事業所の認定制度の制定、幼少年消防クラブの育成強化、各種消防行事の開催協力など、協会の育成発展を通して、鈴鹿市の消防・防災の指導者として防火思想の普及・啓発に尽力し、地域住民の信頼も厚く、地域の安全・安心の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>いわ</sup>岩 <sup>い</sup>井 <sup>み</sup>美 <sup>え</sup>恵

滋賀県女性防火クラブ連絡協議会 副会長  
現住所 滋賀県大津市

平成2年、石山寺辺女性自衛消防隊に入隊後、率先して地域での防火・防災活動に参加、平成26年、大津市女性防火クラブ連合会の会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により女性防火クラブ員の育成、地域の防火・防災意識の向上に努めている。

また、平成26年からは、滋賀県女性防火クラブ連絡協議会の副会長の要職に就き、様々な研修会や訓練等を通して、県内全域の防火・防災意識の高揚と協議会の育成発展に大きく寄与され、令和2年度には日本防火・防災協会会長表彰を受賞、これまでの経験を活かした地域防災力向上の牽引者として多大な貢献をしている。

○鈴 鹿 且 久  
すず か かつ ひさ

左京防火協会 副会長  
現住所 京都府京都市

昭和61年4月、左京防火協会副会長に就任され、現在に至るまで、強いリーダーシップで会員事業所相互間の連携に努め、会の防火思想の啓発及び育成発展に尽力された。豊富な見識と卓越した指導力で地域住民からも信頼が厚く、地域の安心安全の普及・啓発に努めるとともに、防火・防災教育の指導者として貢献されている。

また、年間を通じた各種火災予防運動において、自らが自社従業員の防火・防災教育を積極的に行い、率先垂範し事業所防火の見本を示されている。

特に文化財防火運動では、京都の文化財防火を強く訴え、古都京都の伝統、歴史を火災から守る思想の普及に尽力され、これらの活動を通じ多大な貢献があり、その功績は誠に顕著である。

○市 川 盛 壽  
いち かわ もり とし

吹田市公衆集合場防火協会 会長  
現住所 大阪府吹田市

平成7年6月、吹田市公衆集合場防火協会会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くし、さらに、同年には吹田市公衆集合場防火協会、工場・危険物防火協会、建設業防火協会、家庭防火クラブ協議会で構成される吹田市防火連合会の会長も就任（以降、3度就任）されるなど、吹田市公衆集合場防火協会のみならず、各防火協会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、吹田市の防火・防災活動の指導者として活動されている。

地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をし、吹田市内の火災発生が減少していることにもつながっており、これも氏の消防行政への理解と積極的な協力の賜もので、その功績は誠に大である。

うえ だ ひろし  
○上 田 博

守口門真防火協会 理事  
現住所 大阪府守口市

守口市及び門真市内の事業所で構成する守口門真防火協会において、謹厳実直なる人柄により会員多数から推挙され、昭和63年4月理事に就任し、以降33年間その職務に強い信念を持ち、当協会の事業推進に大きく寄与するなど、その発展に惜しみなく尽力する姿勢が高く評価されている。

また、地域での防火対策のみならず、防災管理対策に関する事象も視野に入れた活動を展開され、防災や減災対策に積極的に関与されており、地域に根ざした事業所のあり方を示している。確固たる信念と旺盛な責任感をもって、日夜、防火・防災の担い手として邁進する姿に多くの人々から絶大な賛辞が送られており、その多大な功績は誠に顕著である。

かた やま かず とし  
○片 山 和 俊

枚方市防火協会 会長  
現住所 大阪府大阪市

平成28年枚方市防火協会会長に就任し、防災講演会や救命講習等、防火協会の目的である火災予防の普及啓発活動に意欲的、献身的に取り組んでいる。各種の訓練や研修会等にも積極的に参加し、消防と一体となり予防行政を側面から支援し、安全・安心なまちづくりに尽力している姿勢は他の事業所の模範となるところである。

さらに、公益財団法人大阪府危険物安全協会の理事を歴任中、同協会東方面部会の副部長を務め、大阪府下東方面の事業所に対しても危険物災害の未然防止を提言し、大阪府下の火災予防等に対しても尽力しており、今日の消防行政に対する貢献はもとより、防火思想の普及啓発に尽力している功労は誠に顕著である。

○<sup>か</sup>加<sup>と</sup>登<sup>とも</sup>友<sup>ひさ</sup>久

豊中防火安全協会 副会長

現住所 大阪府豊中市

氏は、平成18年6月、豊中防火安全協会の理事に、平成28年6月には同協会副会長に就任し、以来、その職務に強い信念を持ち、事業推進と発展に尽力され、令和3年4月1日現在で242事業所が加入するに至っている。特に氏は、協会広報部会長として、積極的に防火に係る広報事業を推進され、本市における防火思想の普及啓発に寄与されている。

また、豊中市の防火・防災のリーダーとして地域住民の信頼も厚く、豊富な識見と卓越した指導力により、地域の防火・防災力の向上に多大な貢献をされている。

○<sup>こ</sup>小<sup>いけ</sup>池<sup>むね</sup>宗<sup>かず</sup>一

美原防災協会 会長

現住所 大阪府堺市

平成15年、美原町防火協会（現 美原防災協会）役員理事に就任し、平成19年に美原防災協会の副会長、平成26年に会長を歴任、現在に至るまで多年にわたり、春・秋の全国火災予防運動、119番の日、歳末火災予防運動などの行事において、リーダーシップを遺憾なく発揮し、地域住民に呼び掛けることで、防火・防災意識の高揚に大いに貢献している。

また、令和2年5月より1年間、堺市消防局管内の各防災協会の連絡調整業務を目的とする堺市高石市防災協会連合会（現 堺高石大阪狭山防災協会連合会）の会長として、当会事業に尽力され、今もなお管内全域の安全・安心に多大な貢献をされている。



○<sup>た</sup>田 <sup>が</sup>賀 <sup>や</sup>弥 <sup>よい</sup>生

摂津市女性防火クラブ連絡会 会長

現住所 大阪府摂津市

平成元年に新八防自治会婦人防火クラブ副会長に就任、平成9年4月に同クラブ会長に就任し、摂津市の火災予防に携わっている。平成9年には、市内の防火クラブを連携運営するための摂津市婦人防火クラブ連絡会（現 摂津市女性防火クラブ連絡会）を立ち上げ、以後会長として、長年にわたり積極的に火災予防活動を展開、当団体の活動推進の牽引役として、その手腕を発揮している。現在も会員全員が一丸となって「安全・安心のまちづくり」に寄与しているところであり、実務を担うリーダーとして職責を果たしている。

また、平成9年5月から、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会副会長を兼任し、大阪府全体の婦人防火クラブの発展と府民の安全・安心の向上に努めている。

○<sup>なか</sup>中大路 <sup>ひと</sup>し均

旭区危険物防火協議会 会長

現住所 大阪府大阪市

平成5年に旭区危険物防火協議会監事、平成16年に旭区危険物防火協議会会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、豊富な見識と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

さらに、平成26年に大阪市内の25の危険物防火協議会の集合体である大阪市危険物防火連合協議会会計理事、平成30年には同連合協議会副会長、令和2年には会長に就任するなど、消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、旭区はもとより大阪市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

にし うら よし かず  
○西 浦 由 一

泉南市防火防災協会 会長

現住所 大阪府泉南市

平成16年4月、泉南市火災予防協会（平成30年8月1日泉南市防火防災協会に名称変更）会長に就任し、現在に至るまで豊富な識見と卓越した指導力により、会の育成発展に尽力されている。自ら先頭に立って、会員事業所及び地域住民への防火・防災と保安体制の充実強化に総力を挙げて取り組みを呼びかけ、防火・防災思想の普及啓発を積極的に推進するとともに、消防機関や地域住民の信頼も厚く、安心安全の街づくりに努める功績は顕著である。

また、防火防災協会の要職のほか、交通安全協会会長、新日本紡績協同組合理事長等を兼務され、広く地域社会の安心安全においても多大な貢献をしている。

まつ おか よし のり  
○松 岡 義 則

松原市火災予防協会 副会長

現住所 大阪府松原市

平成16年4月、松原市火災予防協会常任理事に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の発展に尽力し、その功績から、平成19年7月に監事、平成21年5月に会計理事、平成23年5月副会長に就任、副会長就任後は消防当局と連携を保ちながら、市内の事業所の防火意識の高揚に全力で取り組み、火災の被害軽減に努めている。

また、春季・秋季火災予防運動、住宅用火災警報器の設置促進活動、防火・防災イベントを積極的に支援し各種事業所だけでなく一般家庭に対する火災予防思想の普及・啓発をするなど、安心安全なまちづくりにも尽力し、地域住民の信望も厚く、実行力も旺盛で、安全・安心の普及啓発に多大な貢献をしている。

かわ べ げん  
○川 邊 元

三田市防火安全協会 会長  
現住所 兵庫県三田市

氏は、平成6年6月に三田市防火安全協会の前身である三田市危険物安全協会の理事に就任し、平成10年7月の新組織（三田市防火安全協会）の設立に尽力され、平成14年6月には三田市防火安全協会副会長となり、春・秋の全国火災予防運動の一環として、会員事業所及び消防団と連携し、防火啓発ポスターの配布や住宅用火災警報器設置普及活動に取り組み、防災意識の高揚に尽力している。

また、平成28年6月からは会長に就き、市内の事業所に呼びかけ、消防訓練の指導者育成や救急講習会を開催し、防火安全管理研修会を主催するなど、事業所との連携を通して地域の安全・安心の普及・啓発に多大な貢献をしている。

しの はら けん じ  
○篠 原 憲 二

福山市南防火協会 会長  
現住所 広島県福山市

平成16年に福山市南防火協会曙支部の支部長に就任以来、平成23年に南防火協会副会長、平成29年に南防火協会会長及び福山市防火協会連合会副会長の要職を歴任。防火協会の運営に積極的に携わり、住宅防火対策の推進として秋・春の火災予防運動期間中に関係機関と連携して防火パレードと街頭広報や防火教室等を実施した。初期消火技術の向上のため消火技術競技大会の開催や消防競技大会への参加をはじめとした消火器訓練の実施等、常に熱意をもって防火・防災思想の普及徹底並びに消防力の充実強化に尽力し、地域の防火・防災力向上に多大な貢献をしている。

○<sup>なか</sup>中<sup>むら</sup> 邑<sup>たか</sup> 隆<sup>や</sup> 哉

岩国中央幼稚園幼年消防クラブ 副会長

現住所 山口県岩国市

平成14年3月に岩国中央幼稚園幼年消防クラブ副会長に就任し現在に至るまで、幼年消防クラブの中心的存在として活躍し、幼年期からの防火防災思想を高めることが必要という観点に立ち、様々な機会に鼓笛隊によるマーチングを積極的に取り入れた活動をしている。

また、工夫を凝らした防火活動を実行しており、こうした活動がクラブ員の育成発展だけでなく、地域住民や保護者に対する防火意識の普及啓発にも大きな実績をあげている。

現在は（公財）山口県私立幼稚園協会理事長の要職に就き、「子どもの最善の利益は保育者の質向上」として全教職員のキャリアに沿った防災、防火に関する研修、研究事業にも力を入れている。

○<sup>み</sup>三<sup>と</sup> 戸<sup>まさ</sup> 雅<sup>あき</sup> 明

厚南地区少年消防クラブ運営指導協議会 会長

現住所 山口県宇部市

昭和55年4月12日より厚南地区少年消防クラブ運営指導協議会指導者に就任し、厚南校区クラブ員に対して、規律訓練の実施、救命講習の実施及び防火・防災に関する教養の習得をさせ、未来を担う子どもたちの教育を熱心に行っている。平成23年度には厚南地区の中高生を対象に厚南防災ジュニアリーダーチームを立ち上げ、小学生の指導や地域防災の担い手としての防災教育を行っている。

また、地域の行事に参加することで地域住民と交流を深め、地域住民に対しても共助の重要性を広報し、自助共助の体制の確立に精力的に取り組んでいる。平成14年4月1日からは同クラブ会長となり、子どもたちの防火・防災教育に多大な貢献をしている。

○<sup>みや</sup>宮 <sup>まえ</sup>前 <sup>みなと</sup>港

愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 愛媛県新居浜市

平成13年、新居浜市中萩地区婦人防火クラブ設立にあたり発起人として尽力し、平成19年には新居浜市婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任し、同クラブの発展に寄与した。

当初より、家庭における防火思想の普及、啓発を図るため、研修会や各種災害訓練、救急訓練等に積極的に参加し、防火意識の向上に努め地域に多大な貢献をしている。

また、平成25年からは愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会副会長の要職に就き、日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、防火、防災の意識を高めるため、新居浜市婦人防火クラブ連絡協議会員を対象とした防火・防災に関する研修会を開催するなど、地域防火・防災力の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。これらの功績が評価され、令和3年6月会長に就任された。

○<sup>いの</sup>井 <sup>うえ</sup>上 <sup>ゆう</sup>裕 <sup>き</sup>紀

粕屋南部地域防災協会 監事

現住所 福岡県福岡市

平成19年4月、粕屋南部地域防災協会の理事に就任して以来、長きにわたり豊富な識見と卓越した指導力により防災協会の育成発展に尽くしている。平成22年4月からは、幹事に就任し防災協会の事業の執行や会計を監督するとともに積極的に意見を述べ、適正な協会運営に尽力している。

防災協会の各事業に積極的に携わり、「職場の安全と災害のない街づくり」、「自主防災の確立」、「災害の予防」等を訴え、防災協会の最終目的である「地域の健全なる振興発展と公共の福祉増進」に大きく寄与するとともに、防災協会の発展に多大なる貢献をしている。

○古<sup>こ</sup>賀<sup>が</sup>芳<sup>よし</sup>幸<sup>ゆき</sup>

みやま市防災協会 監事  
現住所 福岡県みやま市

平成11年、三山地区防災協会（現 みやま市防災協会）の監事に就任し、豊富な識見とその卓越した指導力により、役員として20年以上の長きにわたり会の発展に尽力している。

また、常に会の運営に積極的に携わり、監事として当協会の事業を適正に監査するとともに、各種事業の推進に積極的に努めるなど、事業の健全な運営と発展に大きく寄与している。

さらに、自治体が主催する防災訓練に積極的に参加し、防災用品の展示・説明を行い、防火・防災思想の普及啓発に尽力するなど、地域全体の安全・安心なまちづくりに多大な貢献をしている。

○馬<sup>ば</sup>場<sup>ば</sup>末<sup>すえ</sup>広<sup>ひろ</sup>

三潞地区防災協会 会長  
現住所 福岡県大川市

平成11年、三潞地区防災協会の理事に就任し、平成23年からは副会長、さらに平成29年からは会長として現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に尽力している。

また、三潞地区防災協会のスローガンである「災害のない、明るいまちづくり」を常に念頭に置き、協会主催の各種事業を積極的に推進し、特に防火・防災に関する事業を開催する際には、自ら先頭に立って地域住民に参加を呼びかけ地域住民の防火防災意識の高揚を図るなど、地域住民に対する防火防災思想の普及啓発及び地域防災力の向上に尽力し、地域の安全・安心の確立に多大な貢献をしている。

## 団体の部

### ○認定間々田<sup>にんていままだ</sup>こども園<sup>えんようねんしょうぼう</sup>幼年消防クラブ

(園長 富川 将)

所在地 栃木県小山市

平成8年11月20日に幼年消防クラブを発足して以来、幼年期から正しい火の取扱いを学び、火遊びの防止を図ることなどを目的として、防火に関する映像や啓発教材を使用して火災予防教育を実施している。

また、小山市消防団通常点検では「防火のちかい」や「火の用心のうた」を披露、小山市防災訓練では自主防災会等と連携し避難訓練を実施するなど、各種防火・防災事業に積極的に参加協力するとともに、地域住民の火災予防に対する意識啓発のため、火の用心防火巡回や、火災予防運動にあわせて防火法被を着用し登園するなど、安全・安心な地域社会づくりに多大な貢献をしている。

### ○公益社団法人さいたま市<sup>こうえきしゃだんほうじん</sup>防火安全協会<sup>しぼうかあんぜんきょうかい</sup>

(代表理事 有山 佳男)

所在地 埼玉県さいたま市

昭和48年、さいたま市に設立以来、防火思想普及啓発事業、講習事業、危険物取扱安全管理体制強化促進事業を展開する一方、少年消防団の県外研修活動を実施することで次世代の防災を担う人材の育成も行っている。

また、防火ポスター作成・掲示、住宅用火災警報器の設置促進、情報誌の発行等の防火・防災事業、防火・防災管理講習、防火対象物点検資格者講習等の講習事業等の積極的な推進を図っている。これらの活動により、さいたま市内における各種災害発生防止に多大な貢献をしている。

なかつがわしれんごうじょせいぼうか  
○中津川市連合女性防火クラブ

(会長 伊澤 さか恵)

所在地 岐阜県中津川市

昭和42年の結成以来、初期消火訓練、救命講習、防火防災講習会を開催し防火・防災意識の向上を図るとともに、大地震等の災害に備えて「空き缶コンロによる炊飯」を普及させる取り組みを行い、市内はもとより岐阜県内へクラブ員が講師として出向し空き缶コンロ炊飯講習会を開催し普及に努めた。

また、住宅用火災警報器設置、取替促進のPRを様々なイベントで実施するなど地域の防火・防災意識の高揚に大きく貢献をした。

いぬやましきけんぶつあんぜんきょうかい  
○犬山市危険物安全協会

(会長 佐伯 則和)

所在地 愛知県犬山市

昭和45年12月23日に設立以来、毎年、危険物安全週間に火災予防啓蒙のため、防火ポスター、けん垂幕及び立看板等を作成し、市内事業所、公共施設に掲出を行っている。又、屋内外消火栓取扱競練会を開催することで、危険物火災に敏速的確に対処できるよう消防技術の向上を図るとともに、危険物関係施設等の管理が優良で他の模範となる事業所、危険物取扱者で勤務成績が優秀で他の模範となる者を毎年定期総会において表彰を行い、防災思想の啓蒙に大きな成果を上げている。

このほか、犬山市消防本部に対し、平成23年度と令和3年度に軽貨物自動車を寄贈（計2台）し、消防施設の増強に尽力する等、消防行政等の推進に多大な貢献をしている。



いわたにがすかぶしがいしやきんきじぎょうぶあまがさきこうじょう  
○岩谷瓦斯株式会社近畿事業部尼崎工場

(工場長 山本 明成)

所在地 兵庫県尼崎市

当事業所は、昭和34年4月に開設以来、日本の産業ガスメーカーを牽引する事業所であり、日々防火防災管理の徹底に努め、あらゆる法令遵守に細心の注意を払うことで、62年間無事故無違反を継続しているとともに、自社のみならず、地域社会における防火防災活動を積極的に推進し企業の社会的責任を果たしている。

また、防火・防災事業にも積極的に参画し、尼崎市内の事業所約700社が加入する尼崎市防火協会において中支部長等の役員を歴任するなど、市内の防火・防災への取組事業者の模範として多大な貢献をしている。

にしやまだいふじんぼうか  
○西山台婦人防火クラブ

(会長 北岡 福子)

所在地 長崎県長崎市

昭和62年9月に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、当市が実施する消防出初式、婦人防火クラブ幹部研修会及び市民防火のつどい等各種行事に積極的に参加し、会員の防火防災意識の高揚に努めているほか、地域での防火防災訓練にも率先して参画するなど、自主防火体制の中心的な存在として活動している。

また、火災予防期間中の防火広報や地域住民による歳末消防警戒に伴う夜警に参加するなど幅広い活動を展開するとともに、住宅用火災警報器の交換促進チラシ等を地域住民に配布し、火災予防を呼びかけるなど、地域の防火防災意識の高揚に大きく貢献している。

いりょうほうじんほりおかいくまもとたく まだい びょういん  
○医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院

(理事長 平田 好文)

所在地 熊本県熊本市

昭和52年3月の医療法人設立以来、24時間体制による安全対策の強化を図っている。平成12年に優良防火管理者の熊本市長表彰、平成24年度に安全功労者の知事表彰を受賞。平成25年の移転に伴い熊本託麻台病院から熊本託麻台リハビリテーション病院に名称変更。毎月18日を「防災の日」として、防災設備の自主点検並びに防災月間目標を定め、全職員が防災意識の高揚に取り組んでいる。

平成28年に発生した熊本地震の際には、近隣の老健施設の入居者の受け入れや、地域住民に避難場所の提供を実施。現在も地域の防災拠点として、地域との連携に努めている。

こっかこうむいんきょうさいくみあいれんごうかいくまもとちゅうおうびょういん  
○国家公務員共済組合連合会熊本中央病院

(院長 濱田 泰之)

所在地 熊本県熊本市

当事業所は、消防用設備等の適切な維持管理に努めると共に、消防計画に基づく消防訓練を実施し、全職員で火災予防の推進と防火思想の普及徹底を図り、平成16年9月からは、消防法令の違反事項がない優良な防火対象物として「防火対象物点検の特例認定」を受けている。

また、防火・防災管理者を中心として、多数ある診療科目や事務職員と連携し昼夜を想定とした防火訓練を実施するとともに、同管理者による新規採用職員への講義や看護部を主体とし毎月、防火に関する勉強会を行う等の当該施設構造や有事の際の活動方針等の共有を図る等、地域の防火・防災意識の向上に努めている。

とくていいりょうほうじんせいじんかい せいじんびょういん  
○特定医療法人成仁会くまもと成仁病院

(理事長 上原 昌哉)

所在地 熊本県熊本市

平成12年4月にくまもと成仁病院として開院後、平成26年熊本県知事より防火管理模範施設として表彰を受けた。平成28年4月に発生した熊本地震では患者の避難誘導、安全確保に留まらず、地域住民へ避難場所を提供し、トイレ利用や毛布等の支援物資の提供も行った。その地域貢献度が評価され、翌年7月には熊本市防災協会長より優良防火管理事業所の表彰を受賞した。

その後も様々なケースを想定した自衛消防訓練を地域住民参加のもと定期的を実施し、訓練についての情報共有を行うなど、地域の防火・防災の意識向上にも積極的に貢献している。

どくりつぎょうせいほうじんこくりつびょういんきこうくまもといりょう  
○独立行政法人国立病院機構熊本医療センター

(院長 高橋 毅)

所在地 熊本県熊本市

当事業所は、消防関係法令の遵守を徹底し、新規採用職員に防火・防災に関する研修を実施し、職員に対する防火・防災教育の徹底を図ると共に、防火・防災訓練の積極的な実施により職員の災害時の行動力向上に努めている。

救急医療では、各消防機関と連携し、重症傷病者の救命を第一に救急医療を実践すると共に、救命救急センターでは多くの研修生を受け入れつつ、災害発生時における医療体制の確保についての知識の普及啓発活動を行っている。

さらに、令和2年7月豪雨の際には、早期に医師及び看護師を被災地へ派遣し、現場医療支援活動等にあたっている。

## 消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性防火クラブ員

### 消防団員

○<sup>ふじ</sup>藤 <sup>た</sup>田 <sup>しげる</sup>茂

釧路北部消防事務組合弟子屈町消防団 団長

現住所 北海道川上郡

昭和42年に入団以来、54年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防団長として災害における状況判断に優れ、町に避難勧告が発令された水害時にも自ら陣頭指揮にあたり、人的被害をゼロに抑えるなど卓越した指揮能力を発揮した。

また、少子高齢化や消防団員の減少による消防力低下を防ぐ為、令和3年4月に1町に2団あった消防団を円滑に統合し、「弟子屈町消防団」を発足。初代団長に就任し、団員確保の軽減、災害時の体制強化、指揮命令の一元化に貢献している。

令和元年6月からは、北海道消防協会評議員として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○<sup>さわ</sup>澤 <sup>い</sup>飯 <sup>ひで</sup>英 <sup>き</sup>樹

金沢市第二消防団 団長

現住所 石川県金沢市

昭和59年に入団以来、36年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

団長に就任して以来、盤石の消防団協力体制を築き上げ、災害現場では自らが先頭に立ち、豊富な知識と経験による指揮活動により被害を最小限にとどめるなど、地域住民の消防に対する信頼を揺るぎないものにした。

地域防災の中核である消防団の充実強化及び大規模災害に対応するため、機能別団員制度の導入に尽力し、地域防災力の向上に多大な貢献を残した。

また、平成24年から4年間、石川県消防協会会長として、平成26年から2年間、日本消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○<sup>いわ</sup>岩 <sup>き</sup>木 <sup>まさ</sup>政 <sup>み</sup>己

名張市消防団 団長

現住所 三重県名張市

昭和59年に入団以来、37年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

持前の優れたリーダーシップを発揮し、幾多の災害を冷静沈着な判断で対処する姿は、団員はもとより市民からの信頼も厚い。常に改革を推進し、令和元年には大規模災害協力員制度を導入し、地域防災力を向上させるとともに、市内学校へ消防・防災サークルの発足・活動を支援し、次世代の防災を担うリーダー育成にも尽力している。

また、平成26年から2年間、三重県消防協会会長、日本消防協会理事として、平成28年から2年間、理事兼副会長を、さらに令和2年からは理事としても尽力し、その功績は誠に顕著である。

## 女性防火クラブ員

あさ くら ひとみ  
○浅 倉 日登美

富山県女性防火クラブ連絡協議会 会長  
現住所 富山県中新川郡

平成3年、釜ヶ淵地区婦人消防隊（現釜ヶ淵地区女性防火クラブ）の設立に尽力し、平成21年に同隊の隊長及び立山町婦人消防隊連合会（現立山町女性防火クラブ）の会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

令和元年の富山県女性防火クラブ連絡協議会の会長就任後は、災害のない魅力ある郷土づくりに資するため、県内のクラブ員を対象とした講演会等の開催のほか、県民を対象とした火災予防に関する行事の実施、近県のクラブ員との連携強化を図る研修会の開催など、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

しお み すず え  
○塩 見 鈴 榮

京都府女性（婦人）防火クラブ連絡協議会 会長  
現住所 京都府福知山市

地元である福知山市佐賀学区で昭和58年4月から婦人部長となり、昭和60年4月からは同婦人部会長、並びに奥さま防災博士として福知山市防火協会・常任理事に選出される。

平成7年の阪神淡路大震災では、支援活動として被災地に出向き、避難所での炊き出しを行い、同年福知山市長表彰を受賞、意欲的に同協会の発展に寄与し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成22年には、京都府女性（婦人）防火クラブ連絡協議会副会長に、平成26年には同連絡協議会会長に就任した。以来、会長として婦人層を中心とした研修会、各種の災害訓練に積極的に参加、防火意識の向上、防火啓発に努めた。地域防災力の牽引者として、長年にわたり防火思想の普及に努めた功績は誠に顕著であり、他の模範である。

まつ なが きみ こ  
○松 永 君 子

山口県婦人防火クラブ連合会 会長

現住所 山口県山口市

昭和56年5月の名田島婦人防火クラブ発足当初から、地域住民の防火・防災意識の高揚に大きく貢献している。平成25年5月に山口市婦人防火クラブ連合会会長に就任後は、豊富な識見と卓越した指導力を活かし、地域婦人防火クラブの進歩発展に尽力するとともに、消防機関が実施する行事に積極的に参加し、防火防災関連活動に取り組み、地域社会における火災予防に多大な貢献をしている。

平成30年9月に山口県婦人防火クラブ連合会会長に就任後は、県内クラブのみならず、中国・四国ブロック内の幹部間の情報共有や連携を図るなど、各クラブの発展に尽力し、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

ふじ い くに こ  
○藤 井 邦 子

香川県婦人・女性防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 香川県さぬき市

昭和60年、大川町婦人防火クラブ入会時から、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、平成22年には同クラブ会長に就任する。平成25年には香川県婦人・女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任、令和元年には同クラブ会長に就任し地域の安全確保に多大な貢献をしている。

令和2年、日本防火・防災協会会長賞受賞後も火災予防運動などに積極的に取り組み、会長自ら「自助・共助・近所」を合言葉に家庭における防火思想の普及、啓発を図るため、婦人層を中心とした研修会、各種の災害訓練に積極的に参加、防火意識の向上に努めており、地域防災力の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○<sup>これ</sup>是<sup>ざわ</sup>澤<sup>きょう</sup>京<sup>こ</sup>子

宮崎県女性防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 宮崎県児湯郡

平成3年、川南町通浜婦人防火クラブ設立にあたり、発起人として尽力され、初代会長としてこれまで同クラブの発展に寄与しており、現在まで会長職として地域防災のリーダーとして貢献されている。

平成26年には、宮崎県女性防火クラブ連絡協議会の立ち上げに奔走され、初代副会長に就任、5年間にわたり会長を補佐し協議会の発展に尽くされた。

令和元年に協議会会長に就任し、女性防火クラブ員救急講習会の開催、地域児童による防火パレードへの参加、防火・防災普及啓発活動などの推進に積極的に取り組み、本県における防火意識の向上に努められた。

このように地域防災力の向上に尽力された功績は誠に顕著であり、他の模範である。



総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	34	44
	団体	10	
消防功労者表彰	消防団員	3	8
	女性防火クラブ員	5	